

今日のキーワード 人手不足の日本で増加する『外国人労働者』

日本では有効求人倍率が1974年2月以来の高水準となるなど、雇用情勢はひっ迫しており、人手不足となっている業種も多く見られます。こうした中、日本で働く『外国人労働者』は4年連続で過去最高となり、増加傾向にあります。日常の様々なシーンで『外国人労働者』を見かけることも多く、日本の人手不足改善に一役買っています。今回は最近の『外国人労働者』の雇用状況などについてみていきます。

ポイント1

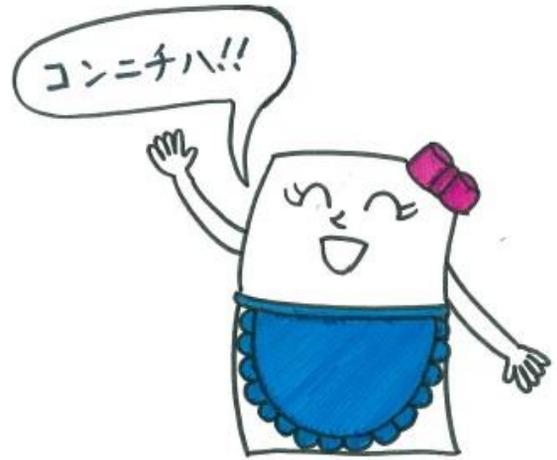
有効求人倍率は1974年2月以来の高水準 強まる人手不足感

- 日本では労働市場の改善が続いています。就業者数は増加し、有効求人倍率は上昇しています。30日に発表された5月の有効求人倍率は1.49倍と、1974年2月以来の高水準となっています。有効求人倍率を職業別に見ると、建設関連や、介護サービスや飲食、接客を含むサービス業などで大変高くなっています。こうした状況下で人手不足の解消を『外国人労働者』に求める動きが強まっています。

ポイント2

『外国人労働者』は100万人超！ 外国人スタッフを見かけるシーンが増えている

- 2016年（10月末時点）の外国人雇用状況を見ると、『外国人労働者』は前年同期比+19.4%の約108万人となりました。4年連続で過去最高を更新しており、私たちの日常でも外国人スタッフを見かけるシーンが多くなってきています。
- 『外国人労働者』が働く産業の比率は、製造業が全体の31.2%と最も高くなっています。一方、建設業や宿泊業・飲食サービス業などで増加しています。
- 在留資格別に見ると、「技能実習」が同+25.4%、「専門的・技術的分野」が同+20.1%と増加率が高くなっています。



今後の展開

政府は『外国人労働者』の受入を推進、活躍の場が広がる

- 政府は、高度外国人材や留学生の受入や就職支援を推進しています。今春からは外国人による家事代行サービスが始まるなど、人材活用の幅は広がっています。足元の景気回復により雇用ニーズが高まるなか、人口の減少に伴って労働力人口の減少が懸念されており、今後も『外国人労働者』の増加傾向は続きそうです。

ここも チェック!

2017年6月23日 『訪日外客数』は順調に増加、今年の方針は？
2017年6月19日 相撲ブーム再来！～景気とのカンケイ～

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。